

(様式 1)

# 自己評価票

## 【自己評価の意義・目的】

自己評価は、事業者自らが主体的にサービスの評価を行い、サービスの提供状況を見直すことにより、サービスの質の向上を図るシステムの1つです。

サービスの質の向上は、この自己評価をはじめ、事業者の取り組みを第三者の目で確認して評価を行う外部評価や第三者評価、苦情解決制度や権利擁護制度、さらには、アンケート調査等による入居者からの声の反映、オンブズマン機能などが相まって実施されることにより達成されるものです。

この自己評価の結果を公表することにより、入居者にとっては、客観的な指標、判断材料として事業者の選択に役立つものとなります。

記入年月日	平成 21 年 9 月 4 日									
法人名	港医療生活協同組合									
代表者(理事長)名	倉澤 高志									
介護保険事業所番号	2	7	7	0	4	0	0	5	3	5
サービスの種類	・ 認知症対応型共同生活介護 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所									
	・ 介護予防認知症対応型共同生活介護 ・ 介護予防小規模多機能型居宅介護事業所									
事業所名称	グループホームしおかぜ									
事業所所在地	大阪市港区八幡屋3-5-1									
記入担当者職・氏名	(職) 管理者		(氏名) 石垣 剛							
連絡先電話番号	06-4395-3311									

## 自己評価項目構成

### ・理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### ・安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### ・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### ・サービスの成果に関する項目

## 【自己評価の実施方法】

運営者(法人代表者等)の責任の下に、管理者が従業員と協議しながら実施してください。

「評価項目」ごとに評価をしてください。

その判断した理由や根拠のポイントを記入してください。

少なくとも、年に1回は自己評価を実施してください。

優れている点や改善すべき点などの特記事項についても、別途、記録しておいてください。

改善すべき事項については、改善のための計画(任意様式)を作成してください。

入居者やその家族等が今後、サービスを受けようとする時の情報として、この評価結果を利用できるように、

利用申込者又はその家族に交付する重要事項説明書に添付の上、説明するとともに、事業所内の見やすい場所に掲示するなどし、評価結果を積極的に公表してください。

評価結果及び記録等は、評価を完了した日から3年間は保存してください。

(様式1)

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>1入居者にとって「自宅に代わる家」を目指します。2入居者を尊重し、個人の意思や思いやりが最優先される雰囲気づくりと支援を目指します(すぐに手や口を出さない)3ひとりひとりの生活のリズムやペースに合わせた支援を行います(職員本位の都合を押しつけない)4穏やかな生活を入居者・職員とともに過ごす事で入居者のあらたな能力の発見・発揮できるように適切な援助・支援を行います5入居者にとって安全で安心できる生活実現に努めます6今までの家庭生活を出来るかぎり継続できるように入居者の通信・交流の援助を行います7身体的にも精神的にも拘束しません8グループホームに居住していても地域社会の一員であると入居者が感じられるように『地域福祉の増進に努めます9入居者、職員、家族が一緒に協働し、楽しみながら日々の生活が過ごせるように支援を行います。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>上記理念を額に入れGH内の見やすいところに掲げています。また職員一人ひとりに理念を配布説明し理念の実践に向けて取り組んでいます。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、入居者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		<p>上記理念を額に入れGH内の見やすいところに掲げています。入居者・職員一緒に日々地域へ出ており、地域で普通の暮らしをしている事を理解していただけるように取り組んでいる。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>ご近所の方々にも気軽に挨拶をしたり、回覧板を一緒に回しに行ったり声を掛け合える関係づくりに努めています</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>地域の商店会に加入。総会などにも出席し関係を築いています。隣近所の住民の方々も気軽に挨拶などして下さる関係づくりを行っています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 入居者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	認知症サポーター養成講座など行っています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議などでその都度日頃行っているケアに ついての振り返る良い機会としています。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、入居者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	ご家族様や他の地域から来られる委員の方々の 意見を出来る限り反映できるように努めていま す。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	認知症学習会を協働で開催した際に講師として 参加		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用している入居者現在おら れ、職員としても権利擁護の意識を持って日々 のケアに生かせるように取り組んでいます。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、入居者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	研修会への参加。参加者より各職員へ周知。虐 待には常に注意を払い予防から意識して行っ ている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、入居者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	出来るだけ丁寧に説明を行いご理解いただけるように話し合いを重ねています。	
13	<p>運営に関する入居者意見の反映</p> <p>入居者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	施設内に意見箱を設置し、毎月事業所向上委員会にて頂いた意見・苦情等に関して討議行って改善できることには迅速に対応できるように努めています。	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での入居者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	家族会・運営推進会議などで定期報告。日常にご家族様と会う場面で報告・相談など行っています。	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	頂いた意見・苦情に関してGHで出来ることについては迅速に会議などで討議し対応。	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	毎月スタッフ会議・年2回職員総会を行っており、その都度意見交換行っている。	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>入居者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	必要に応じて調整している	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、入居者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入れ替えの際に引継ぎ期間を設けて変化をなるべく少なく出きるように配慮</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修・GHネットワークなどの外部研修を通して育成に努めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大阪市GHネットワーク、港区内のGHとの連携を行っている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>意見の言いやすい雰囲気・環境づくりに配慮している。</p>		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>			

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>回数を重ね詳細に丁寧に話し合いを行っている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>回数を重ね詳細に丁寧に話し合いを行っている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>当事業所内にある他の事業所とも協力し、受診・リハビリ・往診など必要なサービス提供に努めている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の入居者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>仮入居期間を設けて短期での利用や、家族などが沢山来ていただけるように配慮し馴染める環境づくりに努めている。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員はあくまで支援の視点であり、一方的なケアの押し付けにならないように注意して、入居者本人が主体的に意見できたり行動できる場面を生活の中で多く持ってもらえるようにしています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族にも出来る限り訪問していただけるように日頃から声かけ行っています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来所回数の少ない家族にも定期的に連絡を行いできるだけGHへきて頂けるように努めています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	近所の商店街には、ほぼ毎日買い物に出ており、入居者自身も馴染みのある方々と会う機会を無くさないように		
31	入居者同士の関係の支援  入居者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに入居者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	自室に籠りきらないようにリビングなどに来ていただき、自然に輪が出来るような環境づくりに配慮しています。		
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする入居者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了したご家族様も定期的にGHへ気軽に来て頂いてます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>希望・意向についてはいつでもお聞きできるように努めています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人・家族から日々情報を得られるように日誌など記録・会議にてスタッフ間で統一に努めています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりが自由に過ごしていただけるように、移行を尊重しスタッフ間の申し送りも詳細にしています</p>	
36	<p>チームでつくる入居者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族・職員・関係者と話し合い、それぞれ意見やアイデアを出し、より良い介護計画が作成できるように努めています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>必要に応じて計画の見直しを行っている。</p>	



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>全職員が記録の記入を行っている、申し送りノートなどでも情報の共有が行えるようにしている。</p>	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同施設内のデイサービスにも参加したり、他の事業所とも常に連携を図って柔軟な支援が行える環境づくりをしている。</p>	
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>外出や行事などのボランティアさん、消防士による防災避難訓練など協力を仰ぎながら支援しています。</p>	
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>当法人居宅介護支援事業所を中心に他事業所との連携サービスの利用支援を行っています。</p>	
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域運営推進会議への参加、包括支援センターより依頼がある地域住民との研修に参加したり相互に協働できている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当法人の医師が定期的に往診行っておりかかりつけ医として機能しており適切な医療の提供も行っている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、入居者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	当法人診療所所長が認知症専門医であり気軽に相談・アドバイスも頂いている。		
45 看護職との協働 入居者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションとも契約行っており、定期的な健康チェックを依頼しており、入居者の日々の状態をしっかりと把握していただいています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 入居者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中は病院関係者と連絡を取り、現在の状況の把握、必要事項においての情報交換を行っており早期退院に向けた協働を行ってます。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時から終末期の際の対応など家族と相談しています。かかりつけ医とも蜜に連携をとっており情報方針の共有に努めている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の入居者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終の棲家をひとつの目的としており、医療スタッフ介護スタッフで出来ること出来ないことなどの見極めもしっかり行った上で様々な方針の決定を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>馴染みの物品、馴染みの関係、などに配慮しつつリロケーションダメージが最小限で抑えられるよう配慮に努めています。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者の方々は常に人生の大先輩であることを念頭において声かけや対応に配慮。記録も本人・家族が閲覧できるようにしている。</p>		<p>言葉使いが馴れ馴れしくなる場合が日常的にあるので、日々職員同士で注意して改善していきたい。</p>
51	<p>入居者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>したいこと、食べたいもの、好きなもの色々と伺いながら一人ひとりに合わせた支援が行えるように努めている。知り得た情報の共有にも配慮。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな一日の流れはあるが、できる限りゆったりと一人ひとりのペースで過ごしていただくように努めています。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>衣類もスタッフと一緒に買いに行ってます。嬉しそうにご自身の趣味のものを選んで購入していただいています。理美容も本人の行きつけの場所へご家族様の協力も受けながら行っていただいています。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、入居者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニュー決めから何を食べたいかお聞きし、一緒に買い物へ行き調理・盛り付け、配膳など一緒に行っています。調理中も様々に会話しながら楽しく食事づくりが行えています。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	忘年会などでは入居者の方もお酒も飲まれます。日常的に楽しみの嗜好の部分をもう少しできればと考えています		
56 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表にて、各入居者の排泄パターンを把握して、早めにトイレ誘導を行い、できるだけ失敗のないように努めています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間・日などは決めておらずいつでも入りたい時に入れるようにしています。(夜間のスタッフが少ない時以外で)		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	リビングのソファや食堂、自室など思い思いの場所で休息されています。出来る限り本人の行動にあわせています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩・買い物・調理・花など好きなもの好きな事は皆さんそれぞれ。その人の嗜好・意欲に合わせて支援を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身でお財布を管理している人が1名。その他は事業所での預かりだが、その人の買いたいものかう際などは支払い・受け取りなど状況に合わせて行っていただけるように支援。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	昼・夕食の買いだしや個人の必要物品の買物・散歩・洗濯干しなど、様々な場面で外出の機会と捉えて支援を行っている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の入居者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日常的な買物などの外出に関しては行えているが、個別な外出に関しては家族様の協力をお願いしています。また年2回入居者・スタッフ・家族合同で外出・遠足行っています。		墓参りなど私的な外出の支援が今後行って行きたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙などは今現在はやり取りされている方がおられない。電話に関しては使いやすい場所に設置して要望があれば電話していただけるようにしています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・友人・知人など馴染みの方がいつでも来ていただけるように声かけしていますし、毎日誰かの家族友人は面会に来られています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないことは入職時に説明しています。日々の業務中でも注意して行っています。		


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に関しては鍵はかけていませんし、職員にも施錠しないケアの意味について理解を日々の中でも説明しています。		
67 入居者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して入居者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	今誰がどこにいるのかを常に職員同士協力して把握し安全に配慮した確認をしています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	家庭的な雰囲気壊さないように家庭にある当たり前のものを置いてます。が安全に配慮し危険の無いよう取り組んでいます。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	必要度の高い疾患については診療所の看護師より学習会などの行っています。月一回のGH会議でも個別に入居者様の検討をして意識統一を図っています。		
70 急変や事故発生時の備え 入居者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年2回の避難訓練を実施しており、AEDの使用法や応急処置の研修など診療所と連携しながら取り組んでいます。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず入居者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を実施しています。会議でも避難経路の確認も行っております。また緊急時の連絡網の整備もしています。連絡網には地域の組合員にも入っていただいています。		地域の方にも避難訓練参加の呼びかけも今後は必要

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染所対応マニュアルにて対応。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器については毎回しっかり乾燥行っている。食材についてもほぼ当日に購入したものを多く使用、調理したものについても2時間以上経ったものは提供しない。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  入居者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に花壇、GH入り口に熱帯魚など親しみやすい自宅の雰囲気工夫をしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、入居者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は自然な音・光に配慮し、一般家庭のあるものを備えています。壁に装飾したり季節感にも配慮した環境づくりをしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った入居者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂やリビングで過ごせたり、ソファなどでゆっくり過ごしたりお好きなところに思い思いにいていただけるようにしている。		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	お部屋のもは全てご自身の私物を持ってきて いただいています。	
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、入居者の状況に応 じてこまめに行っている	換気に努め、外出時には体に負担のないよう に外気温との大きな差がないように温度調節して います。各部屋も個々に応じた温度調節に配慮 しています。	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	歩行時、手すり・いすなどを利用しながらなる べく一人で歩ける環境作りをしています。	
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	出来ること・出来ないことの把握を各スタッ プが行い、本人のできることまで手を出してしま わないように注意しています。	
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを入居者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ベランダで以前は菜園を行っていたが現在でき ていない	菜園を作る、入居者と一緒に野菜作り

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
88	職員は、入居者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての入居者の 入居者の2/3くらいの 入居者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	入居者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	入居者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての入居者が 入居者の2/3くらいが 入居者の1/3くらいが ほとんどいない
91	入居者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての入居者が 入居者の2/3くらいが 入居者の1/3くらいが ほとんどいない
92	入居者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての入居者が 入居者の2/3くらいが 入居者の1/3くらいが ほとんどいない
93	入居者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての入居者が 入居者の2/3くらいが 入居者の1/3くらいが ほとんどいない
94	入居者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての入居者が 入居者の2/3くらいが 入居者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、入居者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての入居者が 入居者の2/3くらいが 入居者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、入居者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

6人と小規模ですが、とても家庭的な雰囲気の中、ご家族の援助も沢山いただきながら日々運営しております。入居者・職員・家族の距離が近いことが特徴であると感じ